

2023年度 キャリアデザインⅡ 暫定スケジュール 2023年3月3日現在

No	日時	講師 (注1)	テーマ	室	備考
1	4/13(木) 12:50 ~14:20	兵動 正幸 CP室アドバイザー	申請書の書き方		自立した研究者は自らの研究資金等を獲得することが求められる。その際、審査員に理解を得るように申請書を書くときの留意点を、具体例を挙げて述べる。
2	4/20(木) 12:50 ~14:20	堤 宏守 創成科学研究科教授、 異分野融合プロジェクト 事業総括	私の考える異分野融合研究		博士後期課程・博士課程学生の皆さんは、それぞれの専門分野をもって日々の研究を実施していると思います。それは、皆さんの強みではあるのですが、他者の視点から自分の専門分野は、どう見えているか、という振り返ることも重要なことと思います。異分野融合研究について、考えることは自分の研究の立ち位置を明確にすることにも役立つはずですが、そのような話ができればと思います。
3	4/27(木) 12:50 ~14:20	三上 真人 創成科学研究科教授、 工学系	私の研究戦略論		各人のこれからのキャリアの参考にしてもらうために、私自身の事を中心に、私がこれまで指導してきた博士課程の皆さんの事も含めて研究経過・成果およびその後の進路等について紹介する。
4	5/11(木) 12:50 ~14:20	坪郷 浩一 坪郷計算工学研究所 所長	自立した研究者になるための心構え		本講義では、講師が実践してきた技術開発および人材育成などについて紹介します。
5	5/18(木) 12:50 ~14:20	藤井 一宏 研究推進機構URA	企業OBによる、企業で求められる人材と、県内の有力企業の紹介	オンライン	大手化学メーカーの面接官の経験もあるOBから、企業の求める人物像と、県内のユニークな有力企業についてお話しします。
6	5/25(木) 12:50 ~14:20	岡本 篤志 株式会社PROTERIAL	企業における博士の価値と役割		グローバル化が加速的に進んでいる現在において、企業が博士人材へ寄せる期待は大きい。一方で、近年の急速な技術・経済の進展に伴って、企業における博士の価値や役割は大きく変化してきている。「期待」と「変化」のギャップを理解し、今自分たちがすべきこと、これから目指すべきことについて考察・議論する。
7	6/1(木) 12:50 ~14:20	山中 明 創成科学研究科教授、 理学系	キャリアデザイン?! -進むべき道の模索-		キャリアデザインを描くには、必ず、出会い(きっかけ)がある。自身のキャリアデザインに必要なものを考えてください。
8	6/8(木) 12:50 ~14:20	米田 純 国立研究開発法人産業技術総合研究所	国立研究所における研究者の役割		博士の就職先として、大学・企業以外に公的研究機関がある。社会課題の解決やイノベーションの創出に向けての取り組みを紹介し、博士の役割について講師の経験を交えてお話しします。
9	6/15(木) 12:50 ~14:20	松井 健二 創成科学研究科教授、 農学系	評価者の立場から見た申請書		今後、キャリアを積んでいく時に、自身のポジションや自身の研究費を獲得するために様々な申請書を書く機会があります。私がこれまでに読んできた申請書から得た印象と、その経験から得た、よりインパクトのある申請書の書き方について皆さんと考えていきたい。
10	6/22(木) 12:50 ~14:20	早坂 大輔 共同獣医学研究科教授	大学教員としての研究、教育活動について		学部、大学院卒業後、現在に至るまでの自身の経験を交えながら、大学における研究、教育活動について紹介する。
	6/29(木)	キャリアデザインⅡ 休講	技術ロードマップ特論		
11	7/6(木) 12:50 ~14:20	山口 徹 (株)TSテクノロジー 代表取締役	起業するという選択肢 -大学発ベンチャーの経験と教訓- (1)		キャリアパスの一つに「研究成果を用いて起業」という道がある。本講義では、講師が大学発ベンチャーを起ち上げて得た経験と教訓、苦労や面白さなどを紹介する。また、会社の仕組みや資金に係る基礎知識を示し、大学発ベンチャーをより身近な存在とする。
12	7/13(木) 12:50 ~14:20		起業するという選択肢 -大学発ベンチャーの経験と教訓- (2)		
13	7/20(木) 12:50 ~14:20	美津島 大 医学系研究科教授	人事における研究業績の評価	オンライン	多くの大学や研究所において研究業績がどう評価されて、人事選考に結びつくか、医学部を例に紹介させて頂きます。
14	7/27(木) 12:50~14:20	町田 尚史 岡山大学全学教育・ 学生支援機構准教授	博士人材における職業選択と自己実現 - 予測し、行動する - (1)		アカデミア、ノンアカデミアを問わず高度教育人材である博士人材に対し、社会はどのような能力・資質・経験・人格・考え方を望むのかについてまずレクチャーする。とりわけシンギュラリティの時代を迎える中では、深い自己認知をもとに大きなパラダイムの転換が望まれる。次の時代を予測し、次代に要請されるトランスファラブルスキルについて、受講生の皆さんと共に考えたい。
15	7/27(木) 14:30~16:00		博士人材における職業選択と自己実現 - 予測し、行動する - (2)		
16	8/3(木) 12:50~14:20	有元 光彦 東アジア研究科教授	私の研究戦略論		研究職を目指す博士後期課程の皆さんに参考にしてもらうために、私自身および私がこれまで指導してきた博士課程の皆さんの研究経過・成果やその後の進路について紹介する。

注1 職名は令和4年度のものです。

キャリアパスデザイン推進室

【事務室】工学部学務課(事務担当:大川) 【TEL】0836-85-9983 【E-mail】career@yamaguchi-u.ac.jp